

## ギター「カントリーロード」

本題材で育成する資質・能力

課題発見・解決力, 主体性

日時 令和5年 9月 12日(火) 5校時  
学年 第2学年 10名

## 1 題材について

## (1) 題材観(教科の見方・考え方は太下線, 言語活動は波線)

本題材は, 中学校学習指導要領音楽の第2学年「A 表現」ア「器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること」, イ(イ)「楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解すること」, ウ(ア)「創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法, 身体の使い方などの技能を身に付けること」, 共通事項イ「音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて, 音楽における働きと関わらせて理解すること」を受けて設定したものである。

ギターは, 弦の弾き方や押さえ方などによって音色が様々に変化するため, 奏法と音色や響きの関わりについて理解することに適した楽器である。また, 「カントリーロード」は4つのコードで演奏でき, 1つ1つのコードの難易度が低いため, 初めてコードを学習するのに適した楽曲である。演奏の録画を視聴し, より曲にふさわしい表現で演奏するための工夫や改善点についてグループで考える学習を通して, 音楽に対する感性を働かせ, 音や音楽を, 音楽を形づくっている要素とその働きの視点でとらえ, 自己のイメージや感情と関連付ける力を育てることが期待できる。

## (2) 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として, 以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】① コミュニケーション能力 ② 課題発見・解決力

【学びに向かう力・人間性】③ 主体性 ④ 自己理解

この中から, 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて, 次の2点に重点を置くものとする。

## 【思考力・判断力・表現力】 ② 課題発見・解決力

- ・ 楽器がうまく演奏できないとき, 何に原因があるかについて考え, 考えたことをもとに練習方法を工夫する学習を通して, 課題発見・解決力を育てる。
- ・ 演奏の録画を視聴した後, 曲にふさわしい表現で演奏するための工夫や改善点についてグループで考える学習を通して, 課題発見・解決力を育てる。

### 【学びに向かう力・人間性】③ 主体性

- ・ コードが分からないとき、コードごとに手元を映した動画を見て、自分の演奏と照らし合わせながら、試行錯誤できるようにすることで、主体的に学習に取り組めるようにする。

### (3) 生徒観（調査結果から見る課題）

本学年の生徒たちは、1学年時にギターの各部の名称や構え方、音の出し方などの基本事項を学習し、5音のみで構成されている簡単なメロディーを演奏した。初めてギターに触れた生徒も多く、非常に意欲的に演奏に取り組むことができた。また、アコースティックギター・クラシックギター・エレキギターの3つの種類のギターで演奏された楽曲を鑑賞し、ギターの音色の違いや、それぞれのギターがどのような音楽で用いられるかについて学習しており、器楽表現に関わる基本的な知識や技能を身に付けてきた。

本学年の生徒を対象に行ったアンケートでは、「楽器を演奏するときに、曲調に合う表現を工夫していますか」という項目に対し、肯定的回答をした生徒は55.6%であり、曲にふさわしい表現について工夫したり考えたりすることに課題があると考えられる。また、「授業では他者の意見を聞いて考えを深めたり広げたりしていますか」という項目に対し、肯定的回答をした生徒は44.5%であった。さらに、「楽器がうまく演奏できないときはどのように練習していますか」という項目に対し、「ひたすら何度も練習する」「楽器が得意な人に教えてもらう」などと回答しており、できない原因を考え、考えたことをもとに練習方法を工夫するといった論理的思考をしている生徒がすくないことが分かった。

### (4) 指導観（指導改善のポイント）

指導に当たっては、全体合奏を録画し、自分たちの演奏を客観的に聴いて工夫点や改善点を考える活動を通して、曲調に合う表現の工夫ができるようにする。また、曲にふさわしい表現で演奏するための工夫や改善点をグループで考えることで、他者の意見を聞いて考えを深めたり広げたりすることができるようにする。また、楽器がうまく演奏できないとき、何に原因があるかについて考え、考えたことをもとに練習方法を工夫する活動を通して、論理的思考ができるようにする。

## 2 題材の目標と評価規準

### (1) 題材の目標

楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な身体の使い方などの技能を身に付け、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。

### (2) 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、体の使い方などの技能を身に付けている。	ギターの音色、コードのリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図を持っている。	コードのリズムや、奏法による音色の違いに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
②楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。		

### 3 指導と評価の計画

(全3時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	態	評価規準 (評価方法)
本質的な問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">楽器を演奏することの魅力とは何か。</div> 題材を貫く問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">曲にふさわしい器楽表現とはどのようなものか。</div>					
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">課題の設定</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習事項の振り返りを行う。</li> <li>・ ピックの使い方, チューニングの仕方を学習する。</li> <li>・ 範奏動画を見ながら, コードを個人で練習する。</li> </ul>	◎			創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法, 身体の使い方などの技能を身に着けている。(ア①/ワークシート, 実技テスト, 観察)
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">情報の収集</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当のコードを決め, コードごとにグループに分かれて練習し, 姿勢や指使いなどを互いに見あってアドバイスし合う。</li> <li>・ カントリーロードの原曲を聴き, 曲の特徴や曲固有の良さを個人で考え発表する活動を通して, 表現したいイメージの共通理解を持つ。</li> </ul>	◎			楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。(ア②/ワークシート 実技テスト, 観察)
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体合奏を録画・視聴し, 工夫点や改善点について意見を出し合い発表することを通して, 曲にふさわしい器楽表現を協働して考える。</li> </ul>		◎		ギターの音色, コードのリズムを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図を持っている。 (イ/ワークシート, 観察)
				○	コードのリズムや, 奏法による音色の違いに関心をもち, 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/ワークシート, 観察)

## 4 本時の学習

### (1) 本時の目標

全体合奏を録画・視聴し、工夫点や改善点を他者と協働して考える活動を通して、曲にふさわしい器楽表現を考えることができる。

### (2) 準備物 ギター ピック ワークシート

### (3) 本時の学習展開

段階	○学習活動 ◆引き出したい生徒の言葉（反応）	○指導上の留意点 ●配慮を要する生徒への支援	◇評価規準 ◆資質・能力（評価方法）	配時
導入	○ 前時の振り返りで、基礎知識の確認を行うとともに、表現したいイメージを確認する。	○ パワーポイントで画像を示しながら、○×クイズ形式で振り返りを行い、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作る。		5
	○ 本時のめあてを発表する。			1
【本時のめあて】 曲にふさわしい器楽表現を考えよう				
展開	「課題1」 ○ グループごとにコードを練習する。	● コードを正しく押さえられない生徒へは、個別に指導を行う。		5
	○ 全体で合奏し、録画をする。			5
	○ 録画を視聴し、より曲にふさわしい表現で演奏するための工夫や改善点について個人で考え、ワークシートに記入する。	○ リズム・音色・強弱に着目して工夫や改善点を考えるよう伝える。	◇ ギターの音色、コードのリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図を持っている。(イ/ワークシート)	5
	○ 個人で考えたことを、発表する。 ◆ ～グループの音が小さいので、もう少し力強く弾こう。 ◆ より曲のイメージに合うようにリズムを変化させよう。 ◆ よりよい音色で演奏するために、指をしっかりと押さえよう。	○ 音楽の諸要素に着目できていない意見については、追加で発問を行う。	◇ コードのリズムや、奏	5

			法による音色の違いに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/観察)	
展開②	「課題2」 ○ 話し合ったことをもとに、学級全体で弾き試しながら音楽を作っていく。	● リズムが正しく演奏できていない生徒には、個別に指導を行う。		10
	○ もう一度演奏を録画し、聴く。			4
まとめ	「まとめ」 ○ 学習を通しての気づきをワークシートに記入し、振り返りを行う。 ◆リズムや音色を変化させることで、音楽の雰囲気を変化することが分かった。	○ 振り返りの時間を十分とり、生徒の気づきを数名発表させることで、まとめの内容の定着を図る。	◇ ギターの音色、コードのリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図を持っている。(イ/ワークシート)	10

#### (4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて 曲にふさわしい器楽表現を考えよう</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; text-align: center; vertical-align: middle;">五線譜</div>	<h3>カントリーロード</h3> <p><b>工夫・改善点</b></p> <p>リズム ○○のコード→もう少し力強く弾く。</p> <p>音色 はっきりした音色→ピックを使う、指をしっかり押さえる</p> <p>リズム 変化→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">決まったリズムを書く</span></p> <p><b>ふりかえり</b></p> <p>◆リズムや音色を変化させることで、音楽の雰囲気が変化することが分かった。</p>
---	--